

総合政策部交通政策課

1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア 日ノ丸自動車株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	7 57,349,047
		県補助対象路線 (広域路線)	6 19,911,275
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	12 38,645,747
合 計		25	115,906,069

イ 日本交通株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	1 1,013,832
		県補助対象路線 (広域路線)	9 55,846,079
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10 44,379,366
合 計		20	101,239,277

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) だんだんコース運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、高島屋・公会堂前など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ルート 【だんだんコース】 米子駅→大学病院→メガドンキホーテ前 (令和6年9月30日より)
→循環天満屋前→ふれあいの里→高島屋・公会堂前→米子駅での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便

ウ 使用車両 小型バス2台

エ 停留所 30か所

オ 料金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 / 3か月13,500円

小学生1か月3,000円 / 3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円 / 3か月4,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券 (日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分) を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額 (21,655,710円) を市が負担した。

ク 利用者数 年間乗車人員84,858人

一日平均232.5人、一便平均11.5人 (幼児を含む。)

(3) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）歴史コース・まちなかコースの運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの本格運行（令和3年12月より実証運行）を開始。

ア ル ー ト 歴史コース（1周26分）とまちなかコース（1周24分）を交互に運行。

【歴史コース】米子駅→米子城前→大学病院→まちなか観光案内所入口→寺町通り→高島屋・公会堂前→米子駅

【まちなかコース】米子駅→西部総合事務所前→高島屋・公会堂前→大学病院→米子駅

イ 運行回数 平日18便、土・日・祝日16便

ウ 使用車両 小型バス1台

エ 停留所 21か所

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円

小学生1か月3,000円／3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行経費から運賃収入を控除した額（12,988,164円）を市が負担し、運行した。

ク 利用者数 年間乗車人員21,437人

一日平均58.7人、一便平均3.4人（幼児を含む。）

(4) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替路線として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回。

イ 運行回数 平日・土曜10便、日曜・祝日運休

ウ 使用車両 マイクロバス（29人乗り）1台、マイクロバス（23人乗り）1台

エ 停留所 57か所

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円

障がい者等1か月1,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市が市町村運営有償運送にて、バス事業者に運行を委託し、運行経費（11,791,862円）を委託料として支払った。

ク 利用者数 年間乗車人員7,019人

一日平均24.0人、一便平均2.4人（幼児を含む。）

(5) 弓浜地区巡回バス（愛称「よねぎーバス」）実証運行

弓浜地区における移動手段を確保するため、地区内の商業施設や病院等を結ぶコミュニティバスの実証運行を令和6年10月1日に開始した。

ア ル ー ト	大篠津町駅前、和田小学校前、まるごう弓ヶ浜店、博愛病院、河崎公民館・河崎小学校前等を巡回（1周1時間。始発は富益団地、終着は富益南口）
イ 運行回数	平日・土曜10便、日曜・祝日運休
ウ 使用車両	ジャンボタクシー（9人乗り）1台
エ 停留所	37か所
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定期券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回数券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、バス事業者に運行を委託し、運行経費（9,470,714円）を委託料として支払った。
ク 利用者数	年間乗車人員2,504人（令和6年10月～令和7年3月） 一日平均17.2人、一便平均1.7人（幼児を含む。）

(6) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）への交通系ICカード決済端末の導入

令和6年10月28日から、ICOCAなどの交通系ICカードに対応した決済端末を導入した。

(7) その他バス路線負担金

米子市内に乗り入れている、安来市広域生活バス「イエローバス」の運行負担金として、安来市に対して1,305,000円支出した。

(8) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構 成	学識経験者1名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、鉄道事業者1名、道路管理者1名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、県職員1名、市職員2名、公募委員2名、その他市長が認める者1名 計19名
イ 開催日	令和6年6月21日（書面審査）、令和6年8月1日（書面審査）、令和6年8月26日、令和7年1月10日、（書面審査）令和7年3月14日（書面審査）

(9) 高齢者バス運賃助成事業

高齢者のバス利用を支援するため、高齢者バス定期券「グランド70」の購入費用を助成。

ア 米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を半額の13,100円で販売する事業者に対し、定価（26,200円）との差額を助成。

実績件数 528件 交付金額 6,916,800円

イ 運転免許を自主返納してから1年以内の、米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を1,000円で販売する事業者に対し、定価（26,200円）との差額を助成。

実績件数 148件

交付金額 3,729,600円

(10) 高校生通学費助成事業

遠距離通学をする高校生等の保護者等に対し、1ヶ月あたりの通学費が7,000円を超えた額について支援を実施した。

実績件数 64件

交付金額 1,386,311円

(11) バス割引乗車券配布事業

バスの利用促進を目的として、米子市文化財団（米子文化ホール、米子市公会堂等）が催すイベントやフレイル対策推進事業等に参加された方に、市内を発着する日ノ丸自動車(株)と日本交通(株)が運行する路線バスの割引乗車券を配布した。（おとな用は200円割引、こども用は100円割引）

配布枚数 1,898枚

使用枚数 おとな663枚 こども19枚

負担金額 134,500円

(12) バスでGO!運賃無料DAY

バス利用の習慣化につなげるため、大型イベントに合わせて米子市内を発着する路線バス及びだんだんバス（どんぐりコロコロは令和7年2月8日のみ）の運賃を無料とする企画を実施した。

○実施日 令和6年10月27日、令和6年11月10日、令和6年12月15日、令和7年2月8日、令和7年3月16日、令和7年3月23日

○利用実績 20,461名（6回分）

2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」を通じて、広報・要望活動を行った。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の利用促進について「山陰本線・福知山線鉄道整備・利用促進協議会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本山陰支社との調整を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和6年度の米子空港利用者数は、国内線が59.1万人で、平成30年の58.9万人を上回り、過去最高を記録した。国際線のチャーター便は、ソウル、香港からのインバウンドチャーターが就航し1,243人の利用があった。
- (3) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。
ア 米子ー羽田線就航60周年を記念し、式典を開催したほか、記念旅行商品の造成やグッズを製作した。
イ 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

ウ 新聞雑誌等によるPR

新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

4 交通全般

(1) 米子市公共交通機関時刻表「のりものガイド」発行

令和6年4月1日現在の米子市を発着する路線バス、高速バス、飛行機などの時刻をまとめた小冊子を、株式会社サイネックスと共同発行した。

発行部数 5,850部

【主な配布先】米子市転入者、市役所施設内、日本交通米子駅前バスターミナル、一部のバス車内、各地区公民館、米子市観光センター等

(2) Y-MaaS事業

ア わいわいパス（米子地域バス乗り放題電子チケット）販売・運用

米子広域圏（米子市、安来市、境港市、西伯郡、日野郡）の路線バス、コミュニティバスの利用促進を目的として、スマホによる電子チケット販売・運用を行った。

(ア) 実施期間

令和6年4月1日から

(イ) 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）とコミュニティバス（米子市だんだんバス・どんぐりコロコロ、安来市イエローバス）が1日乗り放題となる電子チケット（愛称「わいわいパス」）を販売し、運用した。

(ウ) 実施方法

日ノ丸自動車、日本交通、米子市、安来市の4者で米子地域MaaS協議会を設置し、RYDE株式会社のスマートフォンアプリ「RYDE PASS」上で、販売、運用を行った。

(エ) 購入実績（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

○件数・人数

種類	合計	おとな	子ども
①米子広域1日券	226	221	5
②米子市内1日券	524	512	12
③だんだんバス1日券	76	71	5
④米子鬼太郎空港-米子駅連絡バス乗車券	258	253	5
⑤ペアわいわいパス広域	9	9	
⑥ペアわいわいパス市内	14	14	
⑦ファミリーわいわいパス広域	2	2	
⑧ファミリーわいわいパス市内	2	2	

※⑤～⑧は8月～10月の販売

(カ) 利用実績（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

	日ノ丸 自動車	日本交通	イエロー バス	だんだん バス	よねぎー バス	どんぐり コロコロ	合計
合計	1,704	649	41	402	3	1	2,800
①米子広域	450	224	40	46			760
②米子市内	936	381	1	163	3	1	1,485
③だんだん1日				171			171
④米子空港連絡	224						224
⑤ペアわいわい広域	28	12					40
⑥ペアわいわい市内	34	28		10			72
⑦ファミリーわいわい広域	12						12
⑧ファミリーわいわい市内	20	4		12			36

(3) よなご公共交通ふれあいフェスタの開催

公共交通とその利用促進をテーマとした「第3回よなご公共交通ふれあいフェスタ」を11月10日（日）に米子コンベンションセンターBIGSHIPで開催し、約4,700名が来場した。

5 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。